



Ariane Mnouchkine

アリアヌ・ムヌーシュキン
演出家 / 太陽劇団創立者・主宰

半世紀にわたって太陽劇団を率いる84歳のレジェンド演出家。能、歌舞伎、文楽などにも熱い関心を寄せる。こうした日本文化への愛深きリスペクトが、太陽劇団の創造力を支えている。2019年京都賞受賞。

パリ郊外ヴァンセンヌの森にある劇団本拠地カルトゥーシュリには自慢の食堂もあり、公演中はムヌーシュキンはじめ様々な国籍や民族の劇団員たちが観客をもてなします。さらに楽屋など舞台の裏も表も見せたりと、演じる側と観る側の間に“壁”は一切ありません。このような祝祭感に満ちた“演劇の理想郷”には、演劇ファンはもとより家族連れも多数訪れ、まさに民衆に開かれた演劇のあるべき姿を示しています。



Cartoucherie
カルトゥーシュリ

私たちの“金夢島”は、日本を夢見て創られました。

時には悪夢のような、風変わりな想像の日本。永遠の愛と憧れを込めて。

————— アリアヌ・ムヌーシュキン

Notre Kanemu-jima, qui met en scène un Japon rêvé, cauchemardé parfois,
un Japon imaginé, parfois farfelu, toujours adoré pour ne pas dire vénéré.
Ariane Mnouchkine

特別協賛:公益財団法人稲盛財団
助成:アンスティチュ・フランセ パリ本部 / LVMH
協賛:シャネル合同会社
後援:在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ、京都市教育委員会

文化庁 劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
共催:京都新聞
共同招聘:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

KYOTO EXPERIMENT 2023 提携プログラム

Special Sponsorship by Inamori Foundation
Sponsored by LVMH and supported by Institut français in Paris
Sponsored by CHANEL G.K.
Cooperated by the Embassy of France in Japan/ Institut français du Japon
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal
Nominal support by Kyoto City Board of Education

Presented by ROHM Theatre Kyoto (Kyoto City Music Art Cultural Promoting Foundation), Kyoto City
Co-presented by The Kyoto Shimbun
Japan tour jointly organized by Tokyo Metropolitan Theatre, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

Kyoto Experiment 2023 Partner Program



[Kanemu-jima]
特設サイト



作・出演…………… 太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)
演出…………… アリアヌ・ムヌーシュキン(2019年京都賞受賞)
制作アシリエット…………… エレーヌシックスー
音楽…………… ジャーンリジャック・ルメートル
L'ÎLE D'OR Kanemu-jima (The Golden Island) by the Théâtre du Soleil
Directed by Ariane Mnouchkine (2019 Kyoto Prize Laureate)



THÉÂTRE DU SOLEIL 太陽劇団

2023(令和5)年 11/4 (Sat), 5 (Sun) 両日14:00開演

ロームシアター京都 メインホール

※フランス語上演(多言語の使用場面あり)・日本語字幕付き(2階客席にて英語字幕あり)

ROHM Theatre Kyoto Main Hall

*Played in French with multilingual scenes with Japanese subtitles (English subtitles available in 2F seating area).

京都賞受賞をはじめ世界が賞賛を惜しまない
アリアヌ・ムヌーシュキン率いる
伝説の劇団、22年ぶりの来日

演劇は常に
革命であれ



③「アガメノン」(1990)

THÉÂTRE DU SOLEIL

太陽劇団クロニクル

1964-2023

太陽劇団はフランスでアリアヌ・ムヌーシュキンによって1964年に旗揚げ。パリ郊外のカルトゥーシュリ(弾薬庫跡)を活動拠点とし、独自の集団創作スタイルで知られています。演出家ムヌーシュキンの強力なリーダーシップのもと古典から現代劇まで多彩なレパートリーを生み出し、劇団の工房で創られるオリジナルの音楽、美術、仮面、衣裳なども高い完成度を誇っています。ヨーロッパやアジアの伝統様式を取り入れる一方で、現代社会の諸相を綿密にリサーチした作品づくりなど、常にラジカルで挑戦的な演劇表現を貫いてきました。フランス革命を題材とした『1789』(1970年初演①)で大成功を収めて以来、シェイクスピア劇②の連

続上演やギリシア悲劇③にも挑み、世界が認める現代演劇のトップランナーの地位を不動のものとししました。

◆◆◆
映画プロデューサーを父に持つムヌーシュキンは『1789年』、『モリエール』などで映画監督としても活躍し、『モ



④「堤防の上の鼓手」(1999)

これらの長年にわたる功績が評価され、2019年に第35回京都賞思想・芸術部門を受賞しました。

◆◆◆
日本へは2001年に『堤防の上の鼓手』(新国立劇場④)で初来日、文楽の人形遣いを大胆に取り入れた演出が話題を呼びました。若き日に日本を旅したムヌーシュキンは、日本の文化芸能に大きな影響を受け、能、歌舞伎、文楽、大衆演劇などのエッセンスを自らの演劇にも取り入れてきました。そうした日本文化への憧憬が隔々まで込められた『金夢島』は、まさにムヌーシュキンと太陽劇団の集大成ともいえます。



②「十二夜」(1982)

『モリエール』はカンヌ映画祭や岩波ホールでも上映されました。社会問題にも意識的で、難民問題を扱った『最後のキャラバンサライ』(2003年初演)は、戦争や紛争で傷ついた人々への誠実な思いに溢れた大作です。また一方でワークショップ『エコール・ノマド』で若き演劇人の育成にも励んでいます。



①「1789」(1970)

- 公演WEBページ
<https://rohmtheatrekyoto.jp/event/103549/>
- 日本公演特設サイト
<https://rohmtheatrekyoto.jp/lp/theatre-du-soleil-japan2023>
- Information in English
<https://rohmtheatrekyoto.jp/en/event/107282/>



- きこえない・きこえづらいお客様へ
ヒアリンググループの専用受信機をご利用いただけます。座席位置、台数に限りあり。
 - 車椅子でご来場のお客様
車椅子席のご用意がございます。座席位置、台数に限りあり。なお、同伴の介助者がいらっしゃる場合も合わせてご相談ください。
 - 託児サービスについて
両日ともに託児サービスを実施いたします。
対象年齢:3か月~就学前 料金:有料1,000円/1公演/1人
- 上記観劇サポート、託児サービスの詳細・お申込みは上記にございます『金夢島』特設サイトをご覧ください。

フランスから日本へ。夢の祝祭劇、開幕！
ようこそ、芝居の国の旅人たち。

世界的演出家アリアヌ・ムヌーシュキン率いる
フランスの太陽劇団 (テアトル・デュ・ソレイユ) の
22年ぶりとなる来日公演がこの秋ついに実現します。

ムヌーシュキンが愛してやまない日本文化へのオマージュを込めた

新作のタイトルは『金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-jima』。
日本と思しき架空の島を舞台に、謀略と権力闘争、演劇祭を巡る虚々実々、
愛と哀しみの人間模様が、演劇的な表現様式を駆使して描かれます。

魂を揺さぶる演劇の力。

太陽劇団が放つ劇的ダイナミズムに、ご期待ください。



時は現代、場所はパリ。病床に伏す年配の女性コネリアは、夢の中で日本と思しき架空の島「金夢島」にいる。そこでは国際演劇祭で町おこしを目指す市長派とカジノリゾート開発を目論む海外資本グループが対立していた。夢うつつにあるコネリアの幻想の島では、騒々しいマスコミや腹黒い弁護士、国籍も民族も様々な演劇グループが入り乱れて、事態はあらぬ方向へと転がっていくのであった……。

Story

[Kanemu-jima]

金
夢
島
L'ÎLE D'OR



2023(令和5)年 11/4(Sat)・5(Sun) 両日14:00開演
ロームシアター京都 メインホール

※フランス語上演(多言語の使用場面あり)・日本語字幕付き(2階客席にて英語字幕あり)
※開場は開演の45分前 ※上演時間:3時間15分(予定・休憩含む)

2PM on Saturday 4th & Sunday 5th November 2023
ROHM Theatre Kyoto Main Hall

*Played in French with multilingual scenes with Japanese subtitles
(English subtitles available in 2F seating area).

*Run time: 3 hours and 15 minutes including an interval

Tickets 全席指定(税込) Reserved seating
S席¥8,000 / A席¥6,000 / ユース(25歳以下)¥4,000 / 18歳以下¥0(要申込)
※未就学児入場不可

【18歳以下無料ご招待!】座席エリア限定/1公演につき300席
対象者:観劇当日に小学校1年生~18歳以下の方
お申込み方法:ロームシアター京都オンラインチケット内専用ページ、または専用申込フォームにて申し込み
注意事項:19歳以上の方とご来場いただく場合、一般販売席を別途ご購入いただく必要があります。詳細は特設WEBサイト内の18歳以下無料ご招待情報ページをご覧ください。

Young audiences at age 18 and below are invited to see this performance for free! Please see ROHM Theatre Kyoto website for more details. *No admission allowed for pre-school children and there is a nursery service on both 4th and 5th November.

チケット一般発売 2023(令和5)年7/15(Sat)10:00~

会員先行発売*7/8(Sat)10:00~

※フレンズ会員(オンライン会員)、Club会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)・京響友の会会員

チケット取扱

▶オンラインチケット/Online ticket(English available) 24時間購入可 ※要事前登録(無料)
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

▶ロームシアター京都 チケットカウンター
TEL.075-746-3201(窓口・電話とも10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

▶京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231
(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

▶チケットぴあ <http://pia.jp/t> [Pコード:519-574]

▶イープラス <http://eplus.jp/taiyou/>

▶ローソンチケット <tps://l-tike.com/> [Lコード:53017]

お問合せ:ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

ロームシアター京都 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL.075-771-6051(代表) FAX.075-746-3366 <https://rohmtheatrekyoto.jp/>